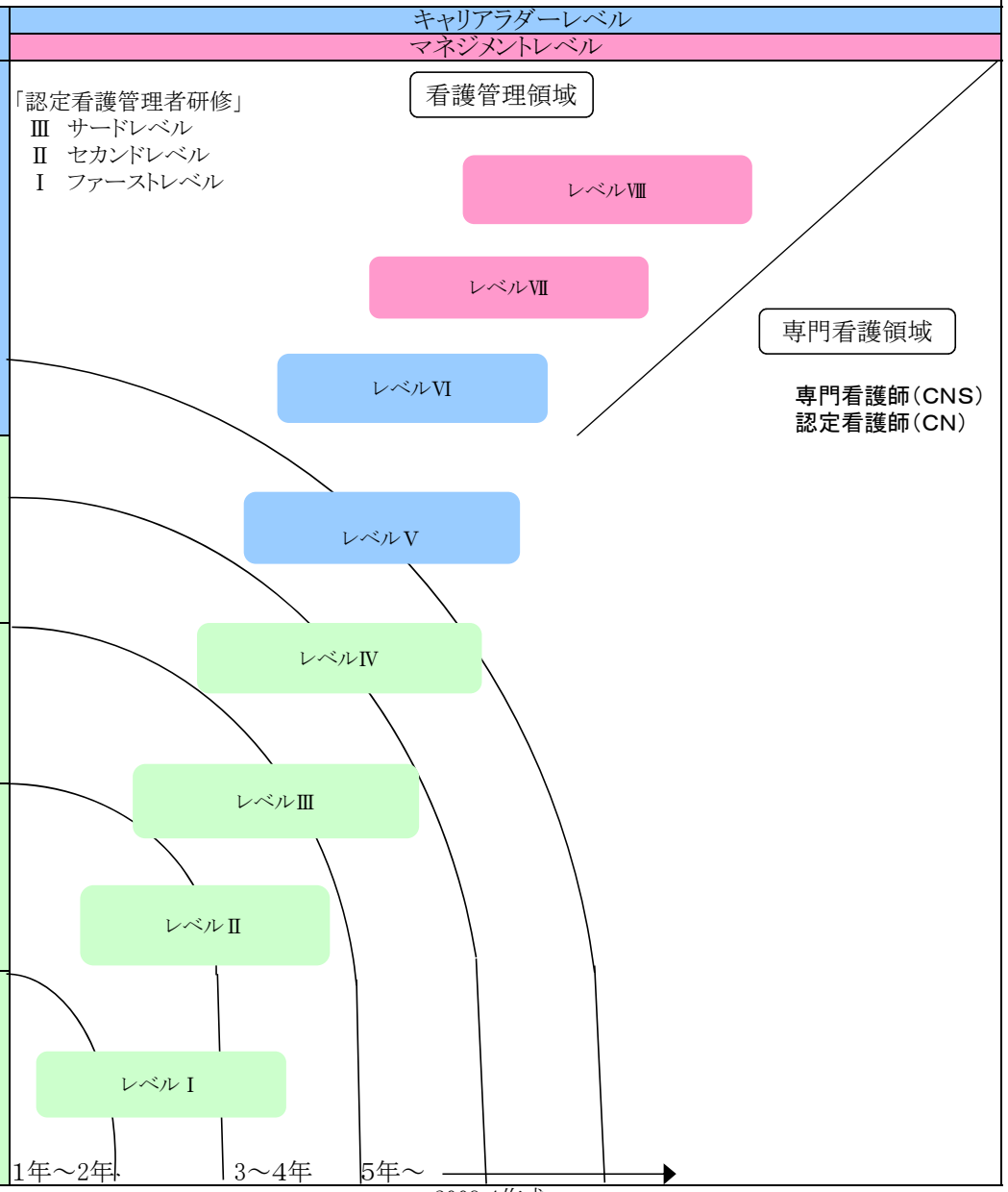
＜継続教育の目標およびプログラム＞

	クリニカルラダーレベル	レベル別研修
レベルⅤ	到達目標 より複雑な状況においてケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する ・ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる ・最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する ・ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように多職種の力を引き出し連携に活かす ・複雑な意志決定プロセスにおいて多職種も含めた調整的役割を担うことができる	全レベル　＊トピックス 1．看護実践能力 ①ケアする力 ②ニーズをとらえる力 ③協働する力 ④意志決定を支える力 2.組織的役割遂行能力 ①管理 ②役割 ③業務 3.自己教育研究能力 ①教育 ②研究
レベルⅣ	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する ・ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる ・様々な技術を選択、応用し看護を実践する ・ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる ・ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことが意思決定プロセスに看護職の立場で参加し適切な看護ケアを実践できる	・専門分野研修 ・院外研修講師 ・エキスパートナース研修 ・必須研修 ・学会等派遣 ・院内研修 ・院外研修 ・トピックス研修 ・事例検討会
レベルⅢ	ケアの受けてに合う個別的な看護を実践する ・ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる ・ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する ・ケアの受け手や園関係者、多職種と連携ができる ・ケアの受け手や周囲の人々に意志決定に必要な情報提供や場の設定ができる	・リーダーシップⅡ研修 ・臨床指導者研修 ・CVポート研修 ・必須研修 ・院内研修 ・院外研修 ・トピックス研修
レベルⅡ	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する ・ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる ・ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する ・看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる ・ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	・リーダーシップⅠ研修 ・化学療法認定研修 ・ME機器研修 ・プリセプターⅡ研修 ・必須研修 ・院内研修 ・院外研修 ・トピックス研修
レベルⅠ	基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する ・助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる ・助言を得ながら安全な看護を実践する ・関係者と情報共有ができる ・ケアの受け手や周囲の人々の意思を知る	・新入職者研修（集合オリエンテーション） ・基礎看護技術研修 ・プリセプティ研修 ・ケーススタディ発表会 ・フォローアップ研修 ・プリセプターⅠ研修 ・ME機器研修 ・必須研修 ・院内研修 ・トピックス研修



2009.4作成
2016.11一部改訂
2018.3一部改訂